

2021年度事業計画書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人フリースクール札幌自由が丘学園

2021年5月現在も新型コロナウイルスへの感染は拡大を続けており、学園では自宅待機期間（オンライン授業のみ実施）が続いている。一方で、札幌市内及び道内の小中学校ではほぼ通常の登校が続いている。

オンラインでの授業は学習の補完や生徒との交流のために一定の役割を果たしていると考えますが、対面授業にはオンラインだけではカバーしきれない極めて重要な意義がある。その機会を提供できない状況には忸怩たるものがあるが、我々はその中でも極力生徒たちの思いを汲み取り、その時にできるフォローを考えて実践していくしかない。

今のところ具体的には、

- ・対面授業を基本としつつ、状況に合わせて適宜組み込むオンラインでの学習
- ・藻岩山登山・マリンスポーツの日など、安全に配慮した野外での体育活動
- ・例年より期間を短縮した宿泊学習

などの取り組みが考えられるが、これらは感染症の状況やその時の生徒の希望に合わせて臨機応変に時期や内容を変更していくことを前提とする。

また、一般の小中学校で通常の登校が続いているということは、校内での感染に不安を感じて学校を休んでいる（あるいは不安に苛まれながら通っている）児童生徒も一定数いることだろう。昨年度見られた休校期間の影響による不登校とも違い、コロナ禍そのものが児童生徒に与える影響は今後も長く続くことが予想される。そうした児童生徒および保護者の不安を和らげるためにも、月例の相談会などの事業を可能な限り継続していきたい。

なお、これまで中心となっていた常勤スタッフに加え、フリースクールで非常勤講師として関わり続けている方々にも正会員になっていただくこととなった。これまでとは違う視点からご意見をいただき、学園活動および法人運営をより良いものとしていきたい。

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	対象者数
① 不登校児童生徒の学習に関する支援の事業	1 毎日の学習（授業形式と個別学習の指導・援助 オンライン授業を含む）	毎週（月～金）	学園	2～3名 （ほか、ボランティアスタッフとして適宜1～3名が参加）	10～25名
	2 夏期・冬期休業期間中の特別講習	7・1月	学園		
	3 体育活動の実施と指導	6～2月	札幌市中央体育館・札幌市美香保体育館・サッポロテイネスキー場ほか（体育授業）		
	4 野外活動・宿泊活動・文化芸術活動など各種の体験活動（特別活動）の実施と指導	6月～2月	野外活動：藻岩山（登山）、銭函（マリンスポーツ）、市内各公園など 宿泊活動：宿泊学習（洞爺）、ネイパル深川（リフレッシュキャンプ） 文化芸術活動：市内各美術館・劇場など（芸術鑑賞）		
② 学校復帰と自立を求める若者への相談の事業	1 高校進学に関する指導（特別授業として）	6～7月	学園	2名	10～25名
	2 同上（日常的な関わりとして）	随時			
	3 個別相談	随時			
	4 三者面談	6～7月 11～12月			
	5 学園開放デー	7～2月	学園	2名	10名
③ 前各号に関する児童生徒若者の父母及び医療・カウンセリング専門家との各種の連携の事業	1 保護者懇談会	随時	学園	2名	5～10名
	2 不登校相談会	通年	学園・区民センター	2名	
	3 高校進学説明会（保護者・外部向け）	7月ほか	学園	2名	20名
	4 収入に応じた授業料減額制度実施	4月～3月	学園	3名	若干名
	5 上記減額制度継続のための寄付募集活動	7～8月	学園	2名	
④ 小学校、中学校、高等学校その他教育機関との連携の事業	1 関係各中学校との定期的な交流（出席や成績などのデータ報告）	通年	学園	2名	
	2 教育委員会等の研修の受け入れ	随時	学園	2名	5～15名
	3 北星学園大学実習生の受け入れ（社会福祉学部・文学部）	6・9月	学園	2名	5名
※定款事業に付随する事業 法人の広報に関する事業 （事業の普及および賛助会員の募集）	1 学園だより「希望の樹」の作成および配布	随時		2名	330名
	2 HPの更新	通年		2名	
	3 SNSアカウントの運用	通年		2名	

(2) その他の活動

特記事項なし